



安心な米づくりにカモも一役 (合鴨農法)

さかわ *Sakawa* 議会だより

39
2009.8.1

6月定例会

contents 目次



植栽の進む日下川

就学前の子供に3万6千円 2

消防団全員に戸別受信機を (一般質問) 6

佐川中 落成行事の内容は (一般質問) 9

尾川、黒岩に高速通信網を (あの質問のゆくえ) 14



**佐川中学校
新校舎が完成**

文教の町の新しい拠点に

6月補正予算 一般会計

5875万円を

増額補正

6月定例会は、9日より11日までの会期で開かれました。

平成21年度の補正予算をはじめ、条例改正など議案12件、報告6件、議員発議による意見書等4件を審議し、採決の結果、賛成全員および賛成多数で全件可決しました。

この中で、次の選挙より議員定数が14に改正されることに伴い、常任委員会の数を3から2に、条例の一部が改正されました。

6月定例会で決まりました

平成21年度6月補正予算

(単位：万円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		5,875	62億5,500
特別会計	国民健康保険	△ 30	18億2,086
	介護保険	43	14億6,159
	後期高齢者医療	△ 7	1億8,866

報告案件

請負契約の変更

平成20・21年度
佐川中学校校舎改築工事
(建築主体・北倉)

59万円の増額

平成20・21年度

佐川中学校校舎改築工事
(建築主体・南倉)

199万円の増額

平成20・21年度

佐川中学校体育館・武道
場改築工事(建築主体)

14万円の増額

平成20・21年度

佐川中学校校舎改築工事
(電気設備・北倉)

77万円の増額

条例改正

町長の報酬

10分の1

1カ月減額

個人情報の流出に対する
管理監督責任として、
町長の報酬を10分の1、
1カ月分減額するもの。
(賛成・多数)

備品購入契約締結

平成21年度

佐川中学校管理備品購入

(契約の方法)

随意契約

(契約金額)

1364万8950円

(契約の相手)

ビジネス・スポーツ

カタオカ 片岡 邦佳

6月補正予算 ピックアップ

ふるさと雇用再生
あったかふれあい
センター事業

1376万円

子どもから高齢者まで
誰もが気軽に集い、子育
てや生活支援、介護サー
ビス等を受けることで
きる拠点を整備し、見守
りの活動を推進するも
の。

子育て応援特別手当

小学校就学前

3年間の子供に

一人当たり3万6000円



平成21年10月1日現
在において、小学校就学
前の3年間に属する子ど
も(平成15年4月2日か
ら18年4月1日生まれ)
のいる世帯主に対して一
人当たり3万6000円
を支給するもの

歴史的風致地区への 集客プラン等事業

498万円

歴史的風致地区の上町
周辺への観光客誘致のた
めの集客プラン等の作成
を委託するもの。



民具館の移築が予定されている上町

平成21年度

第1回臨時会

5月26日開会

報告案件

条例改正

専決処分

和解及び

損害賠償額の決定

広報さかわ4月号において、個人情報報の流出があり、和解および損害賠償決定の報告がされた。

その内容は、広報さかわ5月号に謝罪広告文を掲載済みであることを確認し、解決金として75万円を支払うもの。

特別職・一般職の

期末手当を減額

特別職・一般職の職員に6月に支給する、期末勤勉手当を、0.275月減額するもの。

(賛成13、反対2)

疼痛緩和内科が

糖尿病内科に

高北病院の診療科目を、それぞれ「循環器科」を「循環器内科」、「消化器科」を「消化器内科」、「呼吸器科」を「呼吸器内科」、「疼痛緩和内科」を「糖尿病内科」に改めるもの。

(賛成・全員)

意見書

国にももの申す

総理大臣をはじめ、関係機関に意見書を提出

派遣切りの中止、若者雇用の正規化、労働者派遣法の抜本的改正を求める意見書

(提出者 藤原健祐)

雇用の安定のため、財界、大企業に派遣社員・期間社員の解雇をやめるよう指導し、失業者の生活と再就職支援を行い、失業給付削減を見直し、正規雇用化のための中小企業への補助金制度を設けること。

青年、高齢者、シングルマザーなどの雇用の場を作り、労働者派遣法を1999年の「改正」前に戻すことを求める。

(要旨)

(賛成・全員)

物価に見合う

年金引き上げを求める意見書

(提出者 藤原健祐)

雇用と国民の生活を保障して、生活の不安と雇用の不安をなくし、国民所得の10%を超える年金を目減りさせず、高齢者の生活を保障すること。

将来の不安を取り除くため、2009年4月から年金を3%引き上げ、月額8万円に満たない無年金・低年金者に8万円に達する額を上乗せして支給することを求める。

(要旨)

(賛成・全員)

WTO議長案を拒否するよう

求める意見書

(提出者 氏原義幸)

農家は、生産資材高、生産物価格安の状況にありながら、国民に安全な食料を提供していることに誇りと責務を実感しているが、昨年、WTO議長から提案された案で

は、コメの輸入が現在の77万トンから114万トンに増加され、日本の農業は壊滅する。

日本の農業の役割を再認識し、稲作を中心とした日本農業の根幹を崩すWTO議長案を拒否することを求める。

(要旨)

(賛成・全員)



おいしいお米ができました

全国瞬時警報システムの導入図れ

総務課長 導入に向け、事務進めている

弾道ミサイル情報などの
の事情情報、地震速報、
津波警報、気象警報など
の緊急時の情報をいち早
く伝えることができる、
全国瞬時警報システムの
導入を図るべきだ。また、
緊急時の情報をメールを

松浦 隆起 議員



7人が町政を問う

ここが聞きたい



瞬時の情報伝達がのぞまれる

使って、住民の方に伝え
ることが出来る防災メー
ルや、メールを利用して
職員や消防団員の招集を
行う参集メールの導入に
取り組むべきだ。
味元総務課長 防災情報
通信設備事業交付金で
10/10の補助があるため、
ぜひ、導入したいという
ことで、事務を進めてい
る。職員の参集メールに
ついては、全国瞬時警報

システムと同時の導入を
検討している。防災メー
ルについても検討してい
きたい。

全国瞬時警報シ
ステムとは・・・。

J-ALERTと
言われるもので、緊
急時に人工衛星を用
いて、情報を送信し、
市町村の同報系防災
行政無線を自動起動
し、人手を介さずに、
国から住民まで瞬時
に情報伝達ができる
画期的な仕組みとさ
れている。

防災対策

「被災者支援システム」の導入を

総務課長 導入に向け、検討している

災害が起きた後の被災
者の支援を行う「被災者
支援システム」がある。
これは、兵庫県西宮市の
システム担当者が震災の
経験を生かし、開発した
もので、被災時の被災者
の氏名、住所、被害状況
や被災者証明の発行など
を総合的に管理するもの
だ。このシステムを導入
し、利活用すべきだ。
味元総務課長 現場の実
践を踏まえた良いシステ
ムと認識しており、不可
欠と思っている。導入と、
利活用に向けて、今、検
討している。

クールアース・デー

セタライトダウンの実施を

町民課長 町民に参加を呼びかける



灯りを消して夜空を見よう

昨年より7月7日がク
ールアース・デー、地球
温暖化防止の日と定めら
れた。これにあわせて、
セタライトダウンのキャ
ンペーンが行われた。夜
8時から10時まで、ライ
トアップ施設や各家庭の
明かりを一齐に消灯する
もので、昨年は2時間で
約475トンのCO₂の削減
効果があったといわれて
いる。本町においても、
クールアース・デーの取

り組みを行い、町広報や
防災無線などで、広く住
民の方に協力を呼びかけ
てはどうか。
藤本町民課長 広報さか
わ7月号にクールア
ース・デー、セタライトダ
ウンのキャンペーン記事
を掲載し、町民に参加を
呼びかける。この日はノ
ー残業デーとし、総合文
化センターのグラウンド
の消灯等にも取り組む。



氏原 義幸 議員

通学路の安全対策

40キロの制限標示を

総務課長 佐川署に相談する



急がれる安全対策

9月に中学校が上郷に移転開校する。そのため、斗賀野駅から花畑の踏切までの町道を中学生が多く利用することが予想される。この道にはスピード制限の標示と防犯灯の設置がなく大変危険だ。クラブ活動などで、帰宅が遅くなるので、防犯灯の設置と40キロの制限標示をすべきだ。

また、花畑踏切の直線側町道の一旦停止標示をとの要望がある。

味元総務課長 通学路になって、生徒の往来が予想されるので、佐川署に一旦停止とあわせて相談する。毎年、四電から防犯灯の器具を数灯寄贈されている。その一灯を東部分に設置準備を進めている。規定に則り維持管理を再度、部落にお願いしたい。

榎並谷町長 交通モラル、

地域住民の防犯モラルを

喚起し、地域ぐるみで、

交通事故や犯罪から守つ

ていく体制を構築しても

りたい。



設置予定の戸別受信機

防災対策

消防団全員に受信機の設置を

総務課長 設置の方向で予算要求している

斗賀野消防分団の団員の中に、防災無線が聞こえない団員がいる。他の分団にも何人かいると思われるが、非常時の出勤に支障をきたすと思われる。3月には、本町と津野町で、火事の折、防災無線のサイレンが鳴らないトラブルが発生している。団員全員に戸別受信機の設置をすべきだ。

味元総務課長 国の補正

と県の単独事業で設置す

る方向で、125基分の

予算要求をしている。

ソニ

木質耐震シエルターの製作を進めよ

町長 経営会議で提案する

木質耐震シエルター

は、静岡県の企業が開発

した商品で、一基25万円。

一戸の一部屋に設置して

地震のときに、身の安全

を守るものだ。木材需要

が足りないが、ソニアな

どで製作してはどうか。

榎並谷町長 木質耐震シ

エルターはできるものな

らしい話だが、特許がど

うなっているのかなど、

ソニアにおいて調査を十

分した上で、取り組みを

していかなければならな

い。経営会議等でも提案

をしていく。

利用計画はどんなになっているか

総務課長 可能な限り公売したい

昨年9月定例会で質問を行い、9カ月がたった。若草保育園前の駐車場、その他5件の町有地のその後の利用計画はどんなになっているのか。

味元総務課長 東元町の

集会所の近辺は、県の駐車場として貸し付け、新町の住宅跡地は民間の事業所に貸し付けている。すべての公売可能な土地については、一括して公売にかけたい。鑑定評価の依頼にむけ、事務を進めている。事務が済み次

徳弘 初男 議員



公売を予定している遊休地

農業振興

新作物の計画は

産業建設課長 ヒューマンライフと連携

今年は少雨で農家が困っている。渇水対策にどう取り組んでいるのか。また新作物の取り組みの計画は。

渡辺産業建設課長 用水施設の維持修繕、長寿命化対策を整え、用水の確保に努めたい。新作物はヒューマンライフと連携し薬用作物のミシマサイコ、山椒、梗米、また、畜産農家と連携し、飼料稲を生産する。

健康づくり

ウォーキング大会、計画進んでいるか

健康福祉課長 体育の日に開催

成人病、メタボリックシンドローム等の予防にウォーキングが大変よいということ、若者からお年寄りまで楽しまれている。今年もウォーキング大会の計画が各課で話し合いが進んでいるか。

渡辺健康福祉課長 10月12日、体育の日の「生き生きスポーツ健康祭り」の一環として、開催したい。関係各課と協議を進めていきたい。



より道をしないで帰ろうね

通学路の安全対策は万全か

教育次長 警戒するように指導している

学校・通学路の安全対策は万全か。また、虐待問題、不登校、保健室の利用状況等は把握できているか。

岩本教育次長 通学路については、毎年PTAから要望書が提出され、担

当課で対応している。20年度は不審者情報が9件あり、各学校に警戒するように指導している。虐待は25件、不登校が中学生10名、小学生6名。保健室の利用数は把握できていない。



松本 正人 議員

職員人事

降格申請を強要したのか

副町長 強要したということはない

西森副町長 3月23日に町長室横の応接室に職員に来てもらい開口一番「あなたは現在の役職としての職務が遂行できているか」と聞いたところ、この職員は黙って首をイエスとは振らなかった。希望降格申請書の用紙は総務課で渡したと思う。決して強要したということはない。

榎並谷町長 副町長の今の答弁が事実だ。この職員には直接は事実関係について確認はしていない。強要されたということがあったとしても、後で訴えるのなら先ずそのときに従うべきではない。この件は全体に見て、町民の目から見ても、ある程度容認できる人事であった。

今年度の本町職員の定期異動において、副町長が職員を個室に呼び出し、降格申請を提出するよう強要した旨の訴えが県人事委員会に提出されている。その内容は事実か。また、町長はこの職員に事情は聞いたのか。

学校教材費

保護者負担の実態を調査すべき

教育長 すぐに対応する



空きカン拾いにさあ出発（尾川小学校）

昨年12月定例会で町内の小中学校の教材費の保護者負担の実態を質問した。保護者の教育費負担は大きな問題となっている。いの町では、今年度から小中学校の教材費の保護者負担分についてわずかではあるが一部を町が負担することになった。本町でも検討してもらいたい。実態の把握な

くして政策なしといわれている。まず、本町の保護者負担の実態を調査すべきだ。

藤田教育長 教材費の公費負担については、大きなことだと考えるが、耐震補強や特別教育支援員の対応などもあり、総合的に判断をしていく。実態の把握調査については、すぐに対応する。

委託契約

適正価格の調査すべきでは

町長 何かの機会に調査したい

本町の家庭ごみの処理は以前から町内2業者に委託されてきた。委託費用は平成19年度でそれぞれ2238万円であった。ところが、平成20年度から、札入れが行われ、事実上の競争の結果、委託料が平成19年度の委託料比較で半分以下となっている。適正価格がいくらであるのかわからないが、あまりの違いに不安を感じる。労働者の賃金・権利をしっかりとチェックする必要がある。実は南国市でも同じようなことがあり、市長は適正価格について職員に調査させていると聞いている。本町でも調査すべきでは。

榎並谷町長 一応、積算基準にそって積算しており、適正ではあると踏んでいるが、社会情勢もかろがみ、何かの機会に調査したい。

- その他の質問
- 下水道事業の今後の計画は
 - 防災無線のサイレンなぜ鳴らなかつた
 - 国の追加経済対策の活用は

利活用の見通しは

教育長 財政判断が必要

佐川中学校移転後の施設使用の可否の判断と、今後の利活用の見通しはどうなっているか。

榎並谷町長 拙速は避け、意見を聞きながら、早く慎重に結論を出したい。

岩本教育次長 南北校舎は耐震補強が必要。柔剣道場は続いての使用可能だ。

藤田教育長 体育館は附属物の補修で使用可能。南北校舎は耐震補強に約2億円、取り壊しに約6000万円かかる。補強して使うか、壊すか、町の財政判断が必要な段階だ。

岩本 正 議員



いまだ利用の見通しだっていない

路線バス

加茂へのルート延伸を

町長 今のところ無理

空回りで走る文化センター止まりの巡回バスの加茂へのルート延伸の要望は、再三にわたっている。経営の厳しい実態から、巡回バス存続問題となり、本気度が問われる新しい段階の対応が必要だ。どう認識しているのか。

榎並谷町長 バス会社は、当面頑張ってくれているので、現状を抜本的に変える状況にない。また、加茂への延伸も今のところ無理。過疎地でない本町は、その財源支援がない。今後、バス会社と調整をとりながら、路線のあり方等を課題として取り組む考えだ。

佐川中落成事業

落成行事の内容は

教育次長 吹奏楽部の演奏を行う

民具館移築の進み具合は

産業建設課長 来年2月に移築完了

民具館移築の進み具合と「歴史的風致維持向上計画」のコア事業、ソフト事業の概要を示せ。

渡辺産業建設課長 民具館移築は、今年7月中下旬に取り壊しを完了。裏側にトイレ、台所を建築し、来年2月に移築完了を目指す。

コア事業として、牧野公園、浜口邸の整備事業、付帯事業として、上町景観改善事業、まちの活性化事業、牧野富太郎生家再生事業、標識整備事業を計画している。

今回、完成の運びとなる中学校の落成行事はどのような内容で行うのか。

岩本教育次長 8月8日に落成行事として、吹奏楽部の演奏、新校舎の見学会を行い、生徒会にも参加してもらい、思い出に残る記念行事をしたい。

8月1日には桜座において、南部町の法勝寺歌舞伎と本町の伝統文化の踊りや太鼓の競演で花が添えられる。



今橋 寿子 議員

人材育成

市町村での研修もひとつの方法

町長 大きな効果がある

県への派遣や人事交流などの研修制度を長年続けているが、同時に町民と直接接触している市町村などの身近なところで研修の仕方ひとつの方法ではないか。

榎並谷町長 職員の資質を高めることが大切である。国、県、市町村での研修は見識を広め、大きな効果があるので、あらゆる機会をとらえて、職員の研修に力を入れていきたい。



町民サービスの向上に努める職員

雇用再生事業

「ふるさと雇用再生あったかふれあいセンター事業」の目的を示せ

健康福祉課長 新たな雇用が生まれる

「ふるさと雇用再生あったかふれあいセンター事業」の目的と内容、本町としての具体的な取り組みを示せ。また、この事業は3年間の期限付きと聞いている。その後の方向性をどのように考えているのか。

渡辺健康福祉課長 この事業を導入することで新たな雇用が生まれ、新規雇用した職員に対する研修ができる。また、既存の制度では対応できない地域のニーズに応じたサービスの提供が可能になる。3年後の事業継続は独自財源での実施となる。地域に支持され継続されていくよう事業を進めていく。

審議会

選考の基準は

総務課長 経験・見識等で判断

同じ人が長年または多数の委員会に属されていることの弊害が聞かれる。学識有識者のメンバーも当然必要であるが、一般住民の参画は幅広い意見が聞かれ、組織の新陳代謝も図れ、協働の時代の住民の底力となると考えられる。こういった基準で選んでいるのか。味元総務課長 選考にあたっては、関係各機関からの推薦と、当て職の場合もある。その他は、委員に相応しい経験、見識等で判断している。同一の委員が複数兼ねることもあるが、現時点で弊害等はないと感じている。

その他の質問

- 歴史的風致地区の今後の展望は
- 教育振興基本計画の本町の方針は

無保険者とすることに強い批判

町民課長

22年度まででない

後期高齢者医療制度が発足して1年経過した。保険料を1年滞納すると資格証明書が発行され、無保険者となる。滞納者は何名か。高齢者を無保険者とするに、強い批判がある。どう対応するか。

藤本町民課長 滞納者は34名。当面、広域連合の「被保険者資格証明書の交付に係る事務取扱要綱」に基づけば、平成22年度までは、資格証明書は発行されず、無保険者が出ることはない。



坂本 貞雄 議員

介護保険

新・認定制度の問題点は何か

健康福祉課長 現状を把握し問題はない

新・要介護認定制度では、介護度が低くなることに対する強い批判があり、経過措置として希望すれば現在の介護度を継続できることになっている。本町はこの認定制度をどう認識しているか。問題点は何か。

渡辺健康福祉課長 経過措置の通知は来ている。新しい、認定制度は調査項目が82から74に減ったが、特記事項に詳しく記入することになっている。現状を詳細に把握し、利用者の不利益となることのないよう努めており、問題はない。

農業振興



おいしいお茶づくりには苦労が絶えない

佐川のお茶は守れるか

町長

地産地消でぜひ守りたい

佐川のお茶は春先の低温による霜害で品質が低下し、価格が暴落、経費増で肥料代の支払いに苦慮している。仁淀川流域茶のブランド化が言われているが、ブランド化されたとき、佐川のお茶が作られているか心配だ。

榎並谷町長 佐川のお茶は、県下で唯一、全国お茶サミットの会員であり、味の評価も高い。地産地消で、ぜひ守っていききたい。

地域医療

加茂診療所再生できないか

町長 高北病院を中心に地域医療を守る

国の補正予算が成立し、様々な経済対策が取り組まれている。その中に地域医療再生臨時特例交付金がある。これを活用して、加茂診療所を再生できないか。

榎並谷町長 加茂診療所については、今、どうこうするとは言えないが、国の動向に沿った形で、高北病院を中心として地域医療を守っていききたい。

わがまち



「わが町人」では、この佐川のまちで元気に活躍されている方にスポットをあて紹介します。

初めは、四十万甘栗で何年間か取り組んでいましたが、平成16年9月に今の仁淀川流域夢甘栗生産者組合を立ち上げ、今年で、5年になります。夢甘栗のネーミングは、組合員の方々の意見で決まりました。

組合を設立して何年になりますか、夢甘栗とネーミングした思いは。また、この栗の特徴は。

仁淀川流域夢甘栗生産者組合

この栗で仁淀川流域の活性化と流域のブランド品として全国発信していく夢を託してつけました。

この栗の特徴は、でん粉質での糖度が平均20度あり、渋皮が剥ぎやすく表面の色艶がきれいで、なおかつ日持ちが良いなど大変に優れた栗です。

組合員さんは全部で何人いますか。

66人ですが、そのうち佐川町内の組合員さんは47人います。

年間の収穫量は当初からいうと、どれ位の量になりましたか。

地域の夢をのせて

栗栽培でご苦労されることは。

下草刈り、剪定、肥料やり、消毒など手間をかけるないと良い栗にならないですが、どこの地域も後継者不足、高齢化で日頃の作業が大変になっており、今後、組合員が協力していく必要があると考えています。



人気のもっくり焼きぼん

最後に今後に向けて一言お聞かせください。

行政の力添えで新しい事業を取り入れ、荒廃している耕作地の活用やＩＴ、Ｕターンなどにも取り組んでいきたいですね。

また、夢甘栗の新商品開発にも力を入れ、付加価値を付けることで栗農家の所得を上げて行きたいと思っています。

四十万川に負けないように、仁淀川流域ブランドの名を全国発信していくためにも、皆様方のご協力をよろしく願います。

ありがとうございます。今後も地域活性化と夢甘栗栽培、販路拡大に、頑張ってください。

あなたの周りに、人知れず「佐川のまち」の元気のために活躍されている「人」をぜひ、ご紹介下さい。

ご連絡は議会事務局まで。



西森 精一 さん



色艶、虫食いの選別も大事な作業です

♡佐川に恋して♡

佐川町へのラブレター

■佐川町のどんなところが好きですか。

自然に恵まれていて、夜になると、虫の音が聞こえるところですね。若い人たちが遊べるところが、もっとあればいいですね。

■将来の夢は。

色々なことに挑戦してみたいです。他にも資格を取り、幅広く活動してみたいです。

■趣味は何ですか。

好きな映画を見たり、ドライブしたり、買い物も好きです。

■どんなタイプの男性が好きですか。

優しく、趣味が似ている人がいいですね。

■この仕事を選んだ理由はなんですか。

楽しそうで、生き生きと輝いて見えたからです。

大変なお仕事ですが、これからもがんばってください。



のなみ
野波 あいさん

委員会レポート

町有林の現地調査を実施

総務常任委員会

委員長 藤原健祐 以下5名

4月22日、総務常任委員会は、所管事務調査として、佐川町古畑イナイ山、越知町宮地、仁淀川町名野川山の町有林の現地調査を行った。

古畑イナイ山の町有林は、総面積13.5haで、ほとんど杉、ヒノキの人工林であるが、管理状況が良好とはいえない。本年度、国土調査が実施されるようであるので、担当者による、境界確認と立木の生育状況を把握する必要がある。越知町宮地の町有林は、対岸から境界確認を行った。



仁淀川町名野川山の町有林は、国土調査に基づいた境界や分収契約を行っている植林の生育状況について、管理している仁淀川森林組合の職員に詳細な説明を受け、順調に生育していることが確認できた。

また、カラタニ団地沢付近での大規模崩壊箇所の災害復旧工事が実施されているが、完成するには2～3年かかる現状である。

あれはどうなったか？



インターネットの整備が待たれる

高速情報通信網の整備を

(平成19年6月定例会)

本町において、尾川・黒岩地区がADSLを利用できないため、この回線を希望する住民が多数いる。高速通信情報格差のない、住み良いまちづくりのためにも整備をする必要がある。

(岡村統正 議員)

町
答長
弁

あの質問のゆくえ

No.10

国の交付金を活用し、計画中

国の地域情報通信基盤整備推進交付金と地域活性化・公共投資臨時交付金を活用し、無線アクセスサービスによるブロードバンド・ゼロ地域の解消に向け、計画が進められている。

どう
なった

財源的体力ない

今の状況の中では整備していくだけの財源的体力はなく、一般財源のなかでの多額の投資には困難がある。ただ、インターネットの必要性は重々承知している。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月8日午前9時開会
予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員長	氏原 義幸
副委員長	岡村 統正
委員	西村 清勇
委員	坂本 貞雄
委員	松浦 隆起

ひと昔前には、飲むことより車が欲しいし、車のローンが大事だった。身にふさわしくない高級車に乗り、ガソリン代に苦慮しながらでも車を運転することが当時の若者の生活スタイルだった。

ここ最近の意識調査では若者の車離れが進んでいるとのことだが、現実には、車を買うような現状ではなくなっていることがある。

世界的な不況の真っ只中の今を、生活していかなければならない若者の現状を見ると、何とかできないかと思うのは私だけではないだろう。これは、労働条件の環境の変化が大きく影響していることの表れではないだろうか。

自動車産業における派遣社員、また、期間工など使い捨てのような取り扱いがあつてはならない。

こういったことが無いように、一日も早い景気の回復を願ってやまない。

坂本

編集後記